
令和 7 年 度

事業報告書

社会福祉法人育美会
むさしの保育園

令和7年度事業報告

全ての利用者を大切に、それぞれ必要に応じた適切な支援が出来るよう、職員で連携を心がけた。
法人職員とも連携を密にし、保育園同士では必要な部分に関して望ましいマニュアル作りを継続した。

1. 家庭との連携

少子化や地域の希薄な環境、自然破壊環境、不審者等の不安など、家庭で抱えている問題が多く、安心して子育てしにくい状況になっている為家庭との連絡を密にし、一緒に寄り添えるようにした。
そのために園児の家庭での様子を聴いたり、園での様子を伝えるため、お便り、連絡帳、掲示物、個人面談等さまざまな工夫を行った。

問題を伴う相談に関して、慎重に速やかに解決できるよう最善な方法を取るようにした。

前年度に続き、家庭状況、発達に不安を抱えて特別な配慮が必要な家庭に対し寄り添うとともに、小学校との連携も密にし、少しでも不安を少なくする手立てを講じた。

2. 保育について

毎日の保育では、発達の違いを考慮しつつ、無理のないよう基本の生活習慣を身につけたり、むさしの保育園の恵まれた園内外の環境を生かしてたくさん遊びこめるようにした。

全職員が発達障害を持つこどもの保育を実体験しつつ協力し、問題の解決に努めた。

行事は、子どもたちが友だちと一緒に主体的に取り組み、達成感を味わい、積み重ねによる充実感を感じられるよう工夫した。

食に関して、安全で美味しいものを提供できるようにし、睡眠も良い環境で保障するようにした。

今年度は親子遠足、夜祭、運動会を全園児とその家族が参加し実施することができた。

どの行事も参加率がよく家族間の交流の機会を求められていることが感じられた。

久々の実施で職員は計画段階から戸惑い苦戦したが内容を刷新することもできた。

三施設の交流事業として川越南文化会館で音楽コンサートを実施した。3～5オクラスがバスに乗って移動し、花の人の家の入居者や貴精保育園の園児と一緒に音楽を楽しむことができた。今回のコンサートがとても楽しめたので、3月にむさしの保育園でつどいの広場の親子と一緒に再度コンサートを行い、全園児が音楽を聴くことができた。

3. 健康、安全管理について

食物アレルギーの対応を必要とする園児は今年度も在籍していた。

受診時の様子やアレルギー反応のテストの結果等を職員間で共有しつつ引き続き安全を第一に尚且つ楽しい食事を心掛けた。

自然の中で充分遊ぶことにより、健康な身体作りを心がけた。日々の視診、身体測定、健診などを通して異常や伝染病の早期発見、早期対策がとれるようにした。

園内外の安全体制の確認を行い、職員間、保護者間の協力体制をつくり、園児の安全を守るように努めた。又、子どもたち自身も安全に対する学習がしていけるように心がけた。

4. 併用事業

一時保育は年間で延べ324人を受け入れ各年令のクラスで一緒に楽しく生活できるようにした。

支援事業(つどいの広場)は、幼稚園が満3歳の受け入れやプレ幼稚園が拡充したことが影響し利用者の年齢が低くなり乳児の来園が大多数を占めている。行事や講座の内容を乳児向けに工夫しながら実施した。

お店屋さんごっこ、荒馬座公演、節分、音楽コンサートなど保育園の行事に親子が参加することもできた。

今年度は子育てにストレスを抱える家庭につどいの広場を広められるよう、地域の商業施設にチラシを置いてもらい健全な育児への援助を行った。

5. 防災管理について

緊急災害に対する対策としての避難訓練を毎月行い、時間帯、内容、方法に変化をつけて実施し指導した。防災訓練の方法を園児や職員が一齐に行うだけでなく、職員の通報訓練を実施した。

気候の状況によっては暑さへの対策が必要になることに気づき、冷却材などを準備し、安全な避難に備えた。

6. 感染症について

手洗い、うがい、消毒、換気など基本的な対策は行うものの、冬の間だらだらとインフルエンザの流行が続いた。感染症が流行しない時期があったことが、影響して免疫力が低下しているのかもしれない。

7. 工事および備品購入について

- ・備品購入…子育て支援室照明器具、乳児用サークル、乳児用ベッド、和太鼓
- ・メンテナンス…敷地外周の草刈り、エアコン修理、テラス水道排水修理、洗濯機給水口修理